

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 がんばる えんさん「チーム北川」～

運動会練習で育つ子どもたち!



運動会本番に向けて練習できる日は、明日のみとなりました。子どもたちも、指導する教員も、自然と熱が入ってきます。最後まで、よりよいものにしようがんばっています。まさに、学校中が運動会一色といったところです。

運動会で大切なことは、自分なりの目標をしっかりと持って臨み、今までの自分自身を超えることです。勝ち負けという結果にこだわるのではなく、自分たちが学習したり、練習したりしてきたことをすべて出し切ることだと考えています。

そして、もう一つ。それは、運動会当日までの取り組みの過程を大切にすることです。子どもたちは、暑さに負けずに緊張感をもって練習に取り組んできました。かけっこやリレー、玉入れやダンス、騎馬戦や組体操など、練習を繰り返す中で上手になってきました。予定した練習時間だけでなく、休み時間や家でも進んで練習した子もいるはず。あきらめずに練習し続けるからこそ、できるようになっていきます。1年生から6年生まで、それぞれの学年に応じてがんばっていました。子どもたちは、自分だけでなく、友だちと一緒に努力することを学んでいました。

そのほかにも、子どもたちが自分の、自分たちの役割をきちんと理解し、練習していました。集団演技のすばらしさは、友だちと力を合わせて練習し、一つの形に仕上げることです。その中で、自分のすべきことをちゃんとすることの大切さ、自分一人ではできないことも友だちと力を合わせると実現できることを学んでいました。

特に、6年生の子どもたちは、5年生と協力しながら、いろいろな場面でリーダーシップをしっかりと発揮していました。その一つが、紅白に分かれての応援練習です。14日(木)に運動場で初めて応援合戦の練習をしました。紅白ともに、応援団長を中心にした応援団、そして6年生がきびきびと行動し、大きな声を出したり、適切なアドバイスをしたりして、下学年の子どもたちを上手にリードしていました。その姿を見て私は感動し、胸が熱くなりました。

当然、運動が得意な子ばかりではありません。運動が苦手な子も、自信がない子もいます。そんな子どもたちが、練習を通して成長しました。少しずつ、考えて行動しよう、行動してまた考えようがんばる子どもも増えてきました。子どもたちのもっている能力は、磨けば磨くほど光ります。本校の子どもたちのよさは、素直さをもっていること。素直な心には、教師や友だちからの指導やアドバイスが入っていきます。すると、自分自身のあり方を見直し、改善しようします。そのことが、結果的に自身の成長につながっていったのだと思います。

今年の運動会のスローガンは、「フルパワーでのぞめ! 思い出に残る運動会」です。子どもたち一人一人が、運動会を終えたときに「もてる力を出し切った。」「満足できる演技ができたから、くいはない。」と言えることを願っています。そして、友だちのがんばりにも気づき、応援することができたら、最高ですね。

